

令和5年度 野洲図書館 事業報告(概要)

令和6年(2024年)4月1日 (統計は令和5年度数値)

1. 利用状況

(1) 個人貸出

	貸出冊数 (冊)	貸出人数 (人)	予約受付 (冊)	問合件数 (件)	実利用数 (人)	人口一人あたりの貸出冊数
本館	461,454	115,011	65,197	5,044	-	-
中主分館	37,066	7,934	1,603	675	-	-
合計	498,520 前年比 Δ1.6% (39,454)	122,945 前年比+0.4% (9,625)	66,800 前年比 +11.2%	5,719 前年比 -8.4%	9,873 (市民 8,627人 実利用率Δ0.4%)	9.8冊

* ()内は守山市、草津市、栗東市の広域利用の数

* 「実利用者数」は1年間に1度以上自分のカードで資料を借りたことのある人の実数。

* 本館、中主分館とも281日開館

(2) 地域別貸出冊数(市民・広域・在勤・在学)

	本館	中主	合計	前年比
野洲市民	412,646	33,271	445,917	-1.2%
湖南4市	守山	2,765	32,711	-4.2%
	栗東	154	4,107	-4.7%
	草津	268	2,636	-24.0%
	小計	3,187	39,454	-5.9%
その他	12,541	608	13,149	-2.7%
合計	461,454	37,066	498,520	-1.6%
前年比	-1.4%	-5.0%	-1.6%	

(3) 貸出冊数の推移

	合計	うち市民
H29	639,520	516,736
H30	614,906	502,055
R1	555,122	477,687
R2	485,218	425,189
R3	535,337	473,927
R4	506,796	451,355
R5	498,520	445,917

コロナ禍による諸制限はなくなったが、貸出し冊数の減少傾向は、減り幅は縮小したものの継続している。一方で貸出人数は増加に転じているため、利用一人あたりの貸出冊数が減少傾向にあるといえる。これは「図書館に読みたい本が十分でない」ということでもある。普段は棚に埋もれていて利用者の目につきにくい既存資料を効果的に展示するなど、より魅力のある書架づくりに努めるとともに、限りある資料費の中で市民に必要とされる資料を厳選して収集し、提供していきたいと考えている。

また、社会の高度な情報化が進む中、特に活字離れが懸念される子ども・若者、そして働き盛りの世代への図書館利用を促す取り組みも進めていく必要がある。

(全国の図書館との比較)

『日本の図書館2023』掲載の統計データ(R4統計)を独自に集計した数値が左の表となる。

貸出しの多い福島県白河市の図書館が人口減によりこの階層へと変更となったこともあり、同人口階層の中の貸出し冊数は全国2位から5位へと落ちたが、人口一人あたりの貸出し冊数に換算すると同一人口階層の中で3位の水準にある。

人口5万から6万の市区			
順位	自治体名	貸出数 (千点)	人口 (千人)
1	白河市(福島県)	620	59
2	野々市市(石川県)	578	54
3	下松市(山口県)	515	57
4	石狩市(北海道)	513	58
5	野洲市	507	51
6	白岡市(埼玉県)	420	53

※『日本の図書館2023』(日本図書館協会)より令和4年度統計を独自に抽出。前年R3は74市区。正式な数値は『図書館年鑑2024』(2024夏刊行予定)に掲載予定

(4) 団体貸出 合計 55,841 冊貸出

内訳：園用読み聞かせ絵本セット 6,240 冊、小学校「としょかん BOX」 24,570 冊、
中学校「としょかん BOX」 8,680 冊、その他 16,351 冊

市内の0-12歳一人当たりの図書館児童書の貸出冊数の推移

(5) 子どもと本をつなぐ

子どもが本に親しむためには、幼児期に大人が絵本を読んであげる、あるいは一緒に読む体験を重ねることが重要である。また、自分で読めるようになってからは、子どもの生活環境の中に自発的に読みたくなるような楽しみのための本、読書に適した本があることが大切である。

図書館では、通常の個人貸出しやお話会、子ども向けの蔵書の整備などの基本的な取り組みのほかに、下記のような事業を実施し、子どもから大人に至るまでの全過程において切れ目なく読書の環境を提供するよう事業を進めている。

年度	冊
H26	25.4
H27	26.5
H28	26.3
H29	27.4
H30	27.2
R1	25.1
R2	21.5
R3	25.6
R4	25.3
R5	26.2

①未就園児対象

- 「ブックスタート事業」……4か月児健診時に、赤ちゃんのときから絵本を読んであげることの大切さを伝え、絵本を2冊プレゼントする事業。

②幼児対象

- 園での読み聞かせ用絵本セットの巡回事業
- 園への団体貸出（配送もあり）
- 園に図書館所蔵の作品リスト配布（季節・行事・紙芝居、大型絵本などのお話会用作品、布絵本、人権について考える絵本などの所蔵資料のリスト）
- 園でのお話会・研修会などへの職員派遣、図書館見学

③小・中学生対象

- 調べ学習等への協力（調査、本の用意、資料貸出、写真パネルの貸出）
- 司書の学校訪問（ブックトーク、お話会、研修会、職業インタビューなど）
- 児童生徒の図書館訪問の受入れ（図書館見学、貸出、お話会、職場体験等）
- 「としょかん BOX」巡回事業 小中学校の全クラスに30～35冊の本が入った箱を設置し、定期的に交換・巡回。小学校は年7回。中学校は年5回。
- 学童保育等への団体貸出

④その他

- 野洲高校との連携
- 図書館だより、ブックリスト等の作成
- 各種イベント、展示
- リサイクル本の内覧会と譲渡（園・学校など対象）
- 保護者やボランティア向けの絵本講座への講師派遣（園など）

⑤学校図書館支援業務

- 「学校図書館支援員」による支援業務
令和5年度より、図書館の司書1名が学校教育課と兼務することとなり「学校図書館支援員」として学校図書館のサポートを実施している。学校図書館の業務システムの運用支援、選書・除籍、図書室のレイアウト等の相談業務だけでなく、授業支援のために調べ学習用資料の配送を行っている。本業務は、学校司書配置へつなげるための事業として令和6年度も継続する。
- 学校司書配置の必要性
滋賀県内で学校司書の配置のための予算措置がないのは当市のみという状況である。子どもの主体的な読書活動・学習活動を支援し、想像力や読解力を育み生きる力につなげていくために、いつも子どもの身近にいて子どもと本をつなげる役割を担う学校司書が配置されることが望まれる。

(6) だれでも図書館を利用できるしくみづくり

①バリアフリーサービス

障がい者手帳等を持つ人や要介護 3以上の市民が対象。宅配と郵送を両方利用する人もいる。

平成29年度から開始した、障がいがある人への郵送、宅配サービスは、PR イベント等も実施して広報をすすめているが、よりすそ野を広げる取り組みが必要である。

バリアフリーサービス（宅配・郵送）							
年度	宅配			郵送			実利用者数合計
	実利用者数	件数	冊数	実利用者数	件数	冊数	
R1	5	49	381	7	113	434	11
R2	4	46	366	7	138	624	11
R3	6	37	329	14	177	710	17
R4	7	53	285	12	210	852	18
R5	9	43	107	11	155	692	19

②野洲駅への予約本受取ボックスとブックポストの設置

JR 西日本の協力により、野洲駅の自由通路に予約本受取ボックスとブックポスト 2 台を設置。令和5年4月5日よりサービスを開始した。非対面で24時間、本の貸出・返却ができるようになったことにより、開館時間内の図書館利用が難しい人や、図書館までのアクセスが難しい人など、図書館利用の機会を広げることができた（利用の54%が図書館開館時間外の利用）。

利用が非常に多く、稼働開始当初より34のボックスに対し100人ほどが提供待ちの状況であり、需要過多状態の解消が課題となっている。



予約本受取ボックス利用統計（R5）			
地域		貸出冊数	貸出人数
野洲市	野洲学区	7,065	2,447
	北野学区	3,491	1,085
	三上学区	577	217
	祇王学区	551	244
	篠原学区	110	65
	中主学区	505	198
	市民小計	12,299	4,256
湖南4市	守山	221	81
	栗東	52	21
	草津	44	24
	小計	317	126
その他（在勤・在学等）		497	180
合計		13,113	4,562

③アル・プラザ野洲での移動図書館事業

アル・プラザ野洲店との連携事業として、令和5年6月より移動図書館事業を開始した。会場は原則サービスセンター前のスペースだが、6月から8月までの3か月間はキックオフイベントとして、セントラルコート

を会場に「絵本の広場」と「おはなし会」を同時開催した（滋賀県立図書館「こどもとしよかん事業」共催）。

令和5年度は10回実施し、のべ246人へ1003冊の貸出しを行った。令和6年度も継続実施する。

2. 蔵書

蔵書数（令和6年3月31日現在）

雑誌、新聞の（ ）内は購入数

雑誌オーナー 23タイトル 18件

	図書 (冊)	CD (点)	DVD (点)	絵画 (点)	雑誌 (タイトル)	新聞 (タイトル)
本館	379,228	5,735	1,223	310	186(144)	19(13)
中主分館	32,745	196	11	0	11(8)	2(2)
合計	412,033	5,931	1,234	310	197(152)	21(15)

購入資料数と決算額（令和5年度）

	新規購入図書 (冊)	視聴覚資料 (タイトル数)	図書費 (円)	雑誌購入費 (円)	新聞購入費 (円)	視聴覚資料費 (円)
本館	7,662	4	13,801,059	1,716,863	529,179	44,000
中主分館	644	0	972,318	61,700	94,800	0
合計	8,306	4	14,773,377	1,778,563	623,979	44,000

*購入しての提供ができない資料は、県内をはじめ他図書館との相互貸借により資料を取り寄せて提供している。滋賀県では県立図書館の協力車が毎週巡回し、資料を搬送。（R5 相互貸借件数 借受：2169冊 貸出：791冊）

3. 集会・事業等

【講演会等】

- ①講習会「雑誌『現代農業』に学ぶ野菜づくりのコツと裏ワザ」 6月24日(土)
講師: 出版社「農山漁村文化協会」職員 参加者80名
- ②ファンミーティング「みんなで成瀬を語る会～宮島未奈さんをかこんで～」 9月23日(土)
ゲスト: 宮島未奈氏(『成瀬は天下を取りに行く』著者) 参加者89人
- ③蓮岡修さん講演会「アフガニスタンで見つけた平和のかたち」 10月28日(土)
講師: 蓮岡修さん(「きんだあらんど」店主) 受講者: 55名
★プレイベント 映画上映会「荒野に希望の灯をともす～医師・中村哲 現地活動 35年の軌跡～」
10月14日(土) 参加者46名
- ④講演会「観音信仰から読み解く 近江と紫式部」 3月24日(日)
講師: 大沼芳幸さん(NPO 法人歴史資源開発機構主任研究員) 参加者 89名

【特別展示】

- ①「身近にあった戦争 ～中主小学校から手りゅう弾が見つかった!～」 8/4(金)～8/31(木) 関連本貸出 132冊
- ②「6年生がとらえた宮沢賢治の世界」展 (野洲市教育研究所主催) 10月31日(火)～11月19日(日)
(関連展示) 宮沢賢治没後90周年「宮沢賢治と小さな石たち展」

【その他事業】

- ①「一日図書館員」 7月25日(火)、7月28日(金) 参加者 24名
- ②「本を使って自由研究」 8月2日(水) 午前・午後2回 参加者10名
- ③「としょかんで夜更かし」 9月17日(日) 18:30～22:00 ・書庫開放 参加者 69人
・夜のスペシャルおはなし会 参加者 80人 ・ミニプラネタリウムを作ろう! 参加者数 39組
- ④「一箱古本市」 11月11日(土) 出店者 13組
- ⑤手話サークルイベント ブックトーク「手話に関する本いろいろ」 12月16日(土) 参加者 20人

4. その他の事業、学校・園協力事業

- ①おはなし会(図書館内) 合計72回 1468人(定員制限して職員担当の会のみ実施)

②学校、園協力

- ・調べ学習資料用意: 76件 2,219冊
- ・学校への出張個人貸出: 4校(三上小、中主小、篠原小、中主中) 延べ33回 合計3022冊貸出
- ・ブックトーク: 小学校(6校)へ出向 合計89クラス 2,833人
- ・小学校でのおはなし会 30回 13日 2,409人(職員、ボランティアで実施)
- ・小学校・幼稚園等の図書館見学 6回 213人
- ・幼稚園・保育園・子ども園等へ読み聞かせ用絵本セットを配本(16園+2施設 年6回) 6,240冊

5. 資料の特設展示 (合計104件 10953冊貸出し)

- 「No War In Ukraine」「永原御殿と徳川三代」「植物図鑑 ～牧野富太郎の世界～」 「人生の歩き方」
- 「庭仕事の愉しみ 花も野菜も」「他者の靴を履く～心の国境を越えて～」 「日本の美 雅なるかな」ほか

6. 他機関等との連携

- ・ブックスタート事業 4か月児健診児対象 新型コロナウイルス感染症対策で健診会場に入れないため引換券を健診時に配布し、図書館内で実施。(323組、646冊配布)

7. 図書館協議会 (委員任期 令和5年5月1日～令和7年4月30日) 委員10名、年4回開催

- ・図書館の評価や運営についての意見交換等を実施。3/13市長宛「資料費減への意見書」を取りまとめ

8. その他

- ・「図書館の評価」令和元年度より実施開始 3項目 図書館協議会による外部評価を実施
- ・図書館アンケート 令和5年12/1～12/28 計845件(用紙回答738件、ネット回答107件)
- ・施設貸出 利用回数 866回、11,253人、利用団体実数 115団体